

This is a sample test provided in order for you to self-assess your proficiency level.

In order to cope with the course *Intensive Japanese 1* you will need to understand the following text and be able to answer with confidence at least 50% of the questions correctly (please note we will not be able to rate this for you).

If you do not know some of the 500 kanji (also available from this webpage), you will need to learn them before the start of the course.

You should be able to complete this test within two hours.

### I. READING COMPREHENSION (65%)

Read the passage and answer the questions on the next page.

柳宗悦

①美術館に置いてある絵や彫刻をわたし達が毎日の生活の中で買ったり、使ったりすることはほとんどない。しかし、それは、わたし達が毎日「美」とぜんぜん関係がない生活をしているという意味ではない。例えば、わたし達がいつも使っている茶碗や皿などの中には、だれによって作られたかわからない物であっても、美しく輝いている物がある。明治時代が終わり、大正時代になると、日本でも機械化が進み、茶碗や皿などは工場でたくさん同じ製品が作られるようになった。そんな時代に、手で作られた物や無名の職人の技術をもう一度見直そうと考えたのが「民芸運動の父」と呼ばれている柳宗悦である。

②柳は1889年に東京で生まれた。まだ高校生のときに、あとで有名になった小説家の武者小路実篤や志賀直哉と「白樺」という文学雑誌を作った。卒業して、大学に入学してからも、雑誌を続け、宗教について書いたり、西洋美術を紹介したりした。大学時代に、イギリスから日本へ来ていたバーナード・リーチという陶芸家とも知り合い、いっしょに「美」とは何かについてよく話した。

③柳は、西洋の美術だけではなく、朝鮮の美術にも興味があった。柳の姉の夫も妹の夫も朝鮮で働いていたので、朝鮮の陶磁器を見たり、楽しんだりする機会があったからだ。初めて朝鮮の陶磁器を自分で買ったのは、まだ高校生のときだった。1914年に歌手の中島兼子と結婚して、引っ越したばかりの家に、友達が朝鮮の古い花瓶や茶碗を持って遊びに来てくれた。これを見て、美しい、ぜひ朝鮮に行きたいと思うようになり、1916年に初めての朝鮮旅行に出かけた。ソウルにいる妹に会うことも目的の一つだったが、朝鮮の陶磁器を買い集めることも忘れなかった。その後、何度も朝鮮に渡り、朝鮮文化の大切さを知った。朝鮮の古い建物を壊すという日本政府の計画に反対し、1924年には「朝鮮民族美術館」をソウルに開いた。そこに並べられた物は、名もない職人によって作られた茶碗や皿などの生活に使う道具が多かった。

④このころから、柳は「民芸」という言葉を使うようになった。「民芸」というのは、人々の生活の中から生まれた美の世界のことだ。民芸品は見ることを目的に作られたものではなく、使うことを目的に作られたものであるが、使いやすく作るうとすることで、美しい形になる。そして、作られたあとで、使えば使うほど、また美しくなる。柳はこんな民芸品を探して、朝鮮だけではなく、南は沖縄から北は北海道まで、日本中歩いて回った。1936年には東京に「日本民芸館」を開き、館長になって、展覧会を行ったり、民芸品を売ったり、雑誌に民芸の考え方を紹介する文を書いたりした。

⑤1940年には沖縄の教育問題について言った意見が問題になった。沖縄は日本のほかの場所と違う独特の文化や言葉があるが、その時代、学校で方言を使うことは禁止されていた。柳は「沖縄の文化である沖縄の言葉を大切に

なければならぬ」と禁止に反対した。しかし、沖縄の偉い人達や教育者は「日本のほかの場所と同じことをしなければ、沖縄は将来困ってしまう」と言って、宗悦の意見に賛成しなかった。自分達の文化を守りたいという希望と、日本のほかの場所と同じにならなければ、経済も政治もうまくいかななくなるかもしれないという心配の間で沖縄の人達は複雑な気持ちだった。

⑥ 柳は民芸運動をしながら、いろいろな場所で、その場所にしかない文化を大切に思い、人間と物との本当の関係の中に自由で健康的な「美」を探し続けた。普通の人々が作った豊かな文化を残すために一生懸命がんばった柳は、1961年、「日本民芸館」で倒れ、2、3日後に72歳で亡くなった。

Source: 「柳宗悦と日本民芸館」 <<http://www.mingeikan.or.jp/about/yanagi-soetsu.html>> 参照 2014年2月9日

- 【ことば】 ①彫刻 sculpture 輝く to shine 明治 Meiji 大正 Taishō 進む to advance 職人 artisan  
 民芸運動 the Mingei (folk crafts) movement ②武者小路実篤 Mushanokōji Saneatsu 志賀直哉 Shiga Naoya  
 「白樺」name of a magazine 宗教 religion 陶芸家 potter バーナード・リーチ Bernard Leach ③朝鮮 Korea  
 陶磁器 ceramics ソウル Seoul 政府 government 計画 plan 朝鮮民族美術館 the Korean Art Museum  
 ④民芸 folk crafts 日本民芸館 the Japanese Folk Crafts Museum ⑤独特 distinct 方言 dialect ⑥豊か rich

Answers to questions 1 and 2 should be written directly on to the question paper.

1. If each statement is correct, write O. If incorrect, mark with an X. (6)

- a. ( ) 柳は有名になってから、「白樺」という雑誌を作った。  
 b. ( ) 柳はイギリスへ行って陶芸家のバーナード・リーチと知り合いになった。  
 c. ( ) 柳の姉と妹は朝鮮で仕事をしている人と結婚していた。  
 d. ( ) 柳は朝鮮に行ったとき、初めて朝鮮の陶磁器を買った。  
 e. ( ) 柳の奥さんの仕事は歌を歌うことだった。  
 f. ( ) 「朝鮮民族美術館」には有名な陶磁器だけ置かれていた。

2. Complete the following sentences, according to the passage. (8)

- a. 柳宗悦は \_\_\_\_\_ の出身だ。  
 b. 柳が高校生のとき友達と作った \_\_\_\_\_ の名前は「白樺」だ。柳は「白樺」に \_\_\_\_\_ や \_\_\_\_\_ について書いた。その時いっしょに「白樺」を作った友達の武者小路実篤や志賀直哉は、あとで有名な \_\_\_\_\_ を書いた。  
 c. 柳は \_\_\_\_\_ じゃない人が作った美しい民芸品を大切にした。  
 d. 柳が作った「日本民芸館」では時々民芸品の \_\_\_\_\_ が開かれた。  
 e. 柳は \_\_\_\_\_ に死んだ。

Answers to questions 3 to 5 should be written in the answer book provided.

3. Answer the following questions in detail in Japanese.

- a. 1916年に柳が朝鮮に行ったのはなぜですか。理由を二つ書きなさい。(4)  
 b. ③に「これ」を見て、美しい...」と書いてありますが、「これ」は何のことですか。(2)  
 c. ③に「そこ」に並べられた物は...」と書いてありますが、「そこ」はどこのことですか。(2)  
 d. 柳は朝鮮で日本政府のどんな計画に反対しましたか。あなたはどのように柳が反対したと思います

ますか。(6)

- e. ⑤に「1940年には<sup>おきなわ</sup>沖縄の教育問題について言った意見が問題になった」と書いてありますが、どんな意見を言ったのですか。その意見に<sup>おきなわ</sup>沖縄の<sup>えら</sup>偉い人達や教育者はどうして反対したのですか。(6)
- f. あなたは、<sup>やなぎ</sup>柳の意見と<sup>おきなわ</sup>沖縄の<sup>えら</sup>偉い人達や教育者の意見と、どちらの意見に<sup>さんせい</sup>賛成ですか。どうしてですか。(6)

4. Translate the first paragraph ① into English. (15)

5. In English write in as much detail as possible about the characteristics of <sup>みんげいひん</sup>民芸品 based on the text. (10)

## II. GRAMMAR (35%)

Answers should be written directly on the question paper.

A. Choose the most appropriate word from the square brackets [ ] below and write it on the line.

Use each word only once. . (8x0.25=2)

1. 【 ぴったり、もと、 やつと、 きちんと 】

- a. 使ったら、\_\_\_\_\_の所にしまっておいてください。 b. 最近\_\_\_\_\_暖かくなった。  
c. このズボンのサイズはわたしに\_\_\_\_\_だ。 d. 毎日部屋を\_\_\_\_\_片づけている。

2. 【 どう、 どんな、 どれ、 どちら 】

- a. 先生のお国は\_\_\_\_\_ですか。 b. \_\_\_\_\_人と仕事がしたいですか。  
c. たくさん日本語の本を買ったが、まだ\_\_\_\_\_も読んでいない。  
d. \_\_\_\_\_言えばいいか、わからない。

B. Choose the most appropriate word from the square brackets [ ] below, change its form if necessary and write it on the line. Use each word only once. (15x0.5=7.5)

1. 【 なげる、 つつむ、 よごす、 みがく、 とりかえる、 ぶつかる 】

- a. ここでボールを\_\_\_\_\_り、打ったりするな。 b. さっき電池を新しいのに\_\_\_\_\_ところだ。  
c. この道はとても狭い。車が壁に\_\_\_\_\_そうだ。 d. 母親:ちゃんと歯を\_\_\_\_\_なさい!  
e. プレゼントのワインを紙で\_\_\_\_\_のは難しい。 f. 太陽エネルギーは空気を\_\_\_\_\_ので、いい。

2. 【 やわらかい、 むだ、 きけん、 じょうぶ、 はずかしい 】

- a. ここは\_\_\_\_\_ので、入らないでください。 b. みんなの前で間違えて、\_\_\_\_\_なった。  
c. このベッドは\_\_\_\_\_すぎるから、もっとかたいのがいい。  
d. 石油は残り少ないから、\_\_\_\_\_してはいけない。  
e. いくら体が\_\_\_\_\_も、風邪をひく。

3. 【 する、 できる、 される、 させる 】

- a. この公園は多くの人に利用\_\_\_\_\_いる。  
b. 何でも練習\_\_\_\_\_ばするほど、上手になる。  
c. 試合で優勝 \_\_\_\_\_ように、一生懸命が**ん**ばっている。  
d. 子どもに無理に勉強 \_\_\_\_\_も、意味がない。

C. Write 送りがな for the underlined 漢字 in its appropriate form on the line below. (5x0.5=2.5)

例: さいふを 落 と し て しまった。

1. ドアが 閉 \_\_\_\_\_いますね。だれが 閉 \_\_\_\_\_んでしょうか。  
2. 父親:地震だ! みんな、騒ぐな! 外に出 \_\_\_\_\_な! 火を 消 \_\_\_\_\_!  
3. 今、探しているが、アルバイトがなかなか 見 \_\_\_\_\_んだ。

- D. 1) Insert an appropriate particle in ( ). If no particle is needed, insert an X. You may not use「は」.  
 2) Change the word in 【 】 into its appropriate form and write it on the line. (68x0.25=17)

例: きのう、財布( <sup>さいふ</sup> を ) 【落とす】 落 として 【しまう】 しまった んです。

1. a. いい本屋( )近くにある。その本屋( )行った。 b. 本屋( )入った。 c. 本屋( )本を探した。  
 d. 本屋の1階( )歩いた e. 本屋の階段( )のぼったり、おりたりした。 f. 本屋( )、いい本があった。  
 g. 本屋( )2時間いた。 h. 本屋( )、本を買った。 i. 本屋( )出た。 j. 本屋( )帰って、寝た。
2. a. 【ほしい】 \_\_\_\_\_ら、【安い】 安 \_\_\_\_\_も、買う。 b. 彼は今【ひま】 \_\_\_\_\_と思う。  
 c. 彼はあした【ひま】 \_\_\_\_\_かもしれない。 d. 彼はきのう、そんなに【ひま】 \_\_\_\_\_と思う。  
 e. 「今日、授業がないから、【ひま】 \_\_\_\_\_んです。」 「じゃあ、【ひま】 \_\_\_\_\_ら、手伝って。」
3. 「あのう、すみません、荷物を【おろす】 \_\_\_\_\_たいんですが、ここ( )車を【止める】 止 \_\_\_\_\_  
 いただけませんか。」 「はい、いいですよ。どうぞ【止める】 止 \_\_\_\_\_ください。」
4. 飛行機がライト兄弟( )よって発明【する】 \_\_\_\_\_のはいつですか。
5. ラッシュの電車で足を【ふむ】 \_\_\_\_\_、けがをしてしまった。
6. SOAS に来て、一番【いい】 \_\_\_\_\_のは、いろいろな人( )友達になったことだ。世界中から( )  
 留学生もいるし、英国人の中にも、海外に【住む】 住 \_\_\_\_\_ことがある人や、親( )外国から来た人も多い。  
 わたしと【同じ】 同 \_\_\_\_\_、外国( )興味を【持つ】 持 \_\_\_\_\_いるから、SOAS に【決める】 決 \_\_\_\_\_  
 と言う人がほとんどだ。友達が【できる】 \_\_\_\_\_ば、できるほど、世界にはすばらしい文化がいろいろあること  
 がわかる。よく、日本語が【専門】 専門 \_\_\_\_\_と言うと、どうして日本語を【えらぶ】 \_\_\_\_\_か  
 【聞く】 聞 \_\_\_\_\_。説明する( )が【難しい】 難 \_\_\_\_\_、いつも困ったなあ、と思うが、SOAS で  
 は、「興味があるから」と【言う】 言 \_\_\_\_\_ば、だいじょうぶだ。将来( )どうする( )わからないが、  
 大学で【学ぶ】 学 \_\_\_\_\_ながら、ちゃんと【考える】 考 \_\_\_\_\_と思っている。
7. 9月( )SOAS に入学【する】 \_\_\_\_\_ばかりのとき、ひらがなクリニックというクラスが1週間( )2回あった。  
 ひらがなが【書く】 書 \_\_\_\_\_人もそうじゃない人( )呼ばれた。ひらがなを【正しい】 正 \_\_\_\_\_書く  
 ために、わたし達は、筆順や線の【終わる】 終 \_\_\_\_\_方などに注意しなさい、と【きびしい】 \_\_\_\_\_  
 【教える】 教 \_\_\_\_\_。先生は、わたし達に、「せ」や「も」を何回( )【書く】 書 \_\_\_\_\_。  
 【間違える】 間違 \_\_\_\_\_やすいからだ。初めは、なぜそんなに気( )【つける】 \_\_\_\_\_  
 なければならない( )全然【わかる】 \_\_\_\_\_が、授業のあとで、前より【きれい】 \_\_\_\_\_  
 書けるように【なる】 \_\_\_\_\_、びっくりした。先生( )教えていただいたことを【覚える】 覚 \_\_\_\_\_  
 おいて、これからはきちんと書くように【する】 \_\_\_\_\_と思っている。先生によると、日本では字が【ていねい】 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_ことは、とても【大切】 大切 \_\_\_\_\_そうだ。

Turn over

E.1) Change the verb in the square brackets 【 】 into the *te*-form and write it on the line below.

2) Choose the most appropriate verb from the box, change it into its appropriate form, and write it after the *te*-form of the verb on the line below. Use all verbs in the box only once. (12x0.5=6)

例: 財布を【落とす】落としてしまったんです。

1. 

みる、	ある、	おく、	いる、	いく、	くる、	しまう
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

<Aさんのうちで田中さんを待っている>

A: 田中さん、来ませんね。準備【する】\_\_\_\_\_ 食事が冷たく【なる】\_\_\_\_\_ ますね。

ちょっと電話を【かける】\_\_\_\_\_ でしょうか。

B: あ、ちょうど今、田中さんからメールが来ました。「道が【込む】込\_\_\_\_\_、1時間ぐらい

遅れる」と【書く】書\_\_\_\_\_ んですが、どうしましょうか。

A: 田中さんはここに来るのは初めてだから、迎えに【行く】行\_\_\_\_\_ ほうがいいですね。

B: バス停まで行くんですか。一人でだいじょうぶですか。もう暗いですよ。

A: ええ、犬を【連れる】連\_\_\_\_\_ ので、だいじょうぶです。

2. 

もらう、	くれる、	あげる、	くださる、	いただく
------	------	------	-------	------

<ロンドン留学に来た山田さんの日記。ジョン君は山田さんの友達>

飛行機は11時に着いた。ジョン君のお母さんが車で空港に迎えに【来る】来\_\_\_\_\_

いた。2週間、ジョン君のご両親の家にホームステイ【させる】\_\_\_\_\_

予定だ。晩ご飯はジョン君がイギリス料理を【作る】作\_\_\_\_\_。おいしかった。たくさんのお

皿やお茶碗があったから、洗うのを【手伝う】手伝\_\_\_\_\_ と思っていたのに、「いいよ」と言

われた。大学への行き方は、ジョン君に【調べる】調\_\_\_\_\_ あるから、一人でだいじょう

ぶだろう。